

## 緊急提言

## 優先すべきは打撃を受けた市民生活の安心と安定確保 新型コロナウイルス感染症の拡大は甚大！

新型コロナウイルスの猛威が暮らしを脅かし、その勢いは衰えない中、今は感染対策、また、それに伴う雇用不安、生活困難、子どもたちへの支援などの財源確保こそ優先すべきです。市内小中学校では、オンライン学習に対するための環境整備を早急に進めていかねばならず、各家庭への支援も求められています。そのため、私たちがこれまで前提としてきた計画の進め方や、将来の財政見通し等も大幅に見直しが迫られると考えます。

特に、約 9.2 億円（「基本方針」での施設整備費概算）と見積られる旧北貝取小学校跡地活用（市民活動・交流センターと文化財郷土資料室の設置）や、約 44.68 億円（「基本計画」での想定事

業費）かかるとされる「多摩市立図書館本館再整備基本計画」（中央図書館の整備）の延期など、**不要不急の事業の見直し・再検討が急務**ではないでしょうか。新規の公共建築物や施設整備にあたっては、建築費用だけでなく、その後のランニングコストも視野に入れるべきです。

将来にわたる税収見込みを含め、今一度立ち止まり、検討することを市側に求めています。

### その他の主な提案

- 待機することなく PCR 検査を受けることができる体制や、検査結果が出るまでの居場所や陽性確定後の病床確保。
- 複合災害（コロナ＋自然災害）を前提にした防災体制の整備。
- 小中学生がいる世帯へ小中学生 1 人 1 万円の給付や、地元飲食店支援「たましめし応援隊」を兼ねた「チケット」給付。
- 利用者数に応じて報酬を得ている福祉系事業所がコロナ収束後に運営存続ができるように考えた支援。
- ひとり親世帯の実態調査と支援の拡充。 など

### 3月議会報告 ①

## 議員報酬を増やす時期ではない。

市議会議員の報酬を改定する条例（議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について）が提案され、フェアな市政は反対しましたが、賛成多数で可決しています。

また、同時に市長、副市長、教育長についても同様の提案（常勤特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について）があり、同じくフェアな市政は反対しましたが、賛成多数で可決しました。

今回の見直しは、多摩市特別職報酬等審議会（市長の諮問に応じ、議員の報酬及び市長・副市長等の給料の額について審議を行う）の答申に基づく増額改定とのことですが、答申はそもそも平成 30 年 12 月に出されたものであり、その当時と現在を比べれば、取り巻く環境は一変しているのではないのでしょうか。

**私たちは現下の状況を見て、「今、増額する時期ではない」と判断しました。**

▶ 改正前と改正後の額

役職名	改正前	改正後	増加額
市議会議長	57万9,600円	58万2,500円	2,900円
市議会副議長	52万9,100円	53万1,700円	2,600円
市議会議員	49万4,500円	49万7,000円	2,500円
市長	95万600円	95万5,400円	4,800円
副市長	83万800円	83万5,000円	4,200円
教育長	78万9,300円	79万3,200円	3,900円
下水道管理者	70万6,000円	70万9,500円	3,500円

▼※画像は YouTube「多摩市議会」より



多摩市議会の公式の会議の中継・録画は YouTube の「多摩市議会」チャンネルですべてご覧いただけます。